



にじの郷さとたにやま通信

2019年 8月発行 第27号

発行責任者／理事長 水谷 吉伸 鹿児島市中山町5028番地80 電話099-267-3977

目次

特養ホームユニット増床について ……P1	特養ホームの1年の活動 …… P5
2019年度事業計画 ……P2	理事長ごあいさつ …… P6
にじのさと保育園の1年の活動 ……P3	2018年度事業及び決算報告 …… P7
介護てつだい隊の活動について ……P4	その他 …… P8
ノーリフトケアの取り組みについて ……P4	



特別養護老人ホーム新ユニット完成予定図

特別養護老人ホームユニット増床開設に向けて

～特別養護老人ホーム開設20年目の新たな挑戦～

特別養護老人ホームにじの郷たにやまは、今年の10月で開設20年目を迎えます。

この20年の間に特別養護老人ホームは、50名の入所定員から始まり、現在では90名となりました。

開設20年という節目を迎え、入所待ちの方々が多い現状を踏まえ、ユニットの20床

増床計画に取り組んでいます。

今回の増床を機に、改めて開設当時の原点に立ちかえり、利用者様が安心して暮らせる施設、ご家族様がお家のように気軽に立ち寄れる施設、職員が笑顔でいきいきと働き続けられる施設にしていきたいと考えています。

現在起工式を終え、建設工事は始まり、来年2月のオープンを目指しています。引き続き皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。



2019年度は、特別養護老人ホームユニット増床(20床)工事の成功とスムーズな事業開始が最重要課題となります。年々マンパワーの確保が厳しさを増す中で、利用者には選ばれる施設づくり同様、職員には選ばれる施設づくりも重要性を増しています。働き方改革や新たな介護職員の処遇改善への対応、実習受け入れなど、介護職を目指す学生の支援活動等を進めます。

私たち社会福祉法人は、地域のニーズに応え自らの事業と活動を通じて安心して暮らせるまちづくりを地域とともに進める組織です。社会的役割を認識しながら、高齢者の生きがいや居場所づくり、認知症等の啓発活動等の具体化を進めます。

【事業活動展開の重点課題】

- 1) 職員がそれぞれの専門性を高め、「イキイキ」と活躍する職場づくりをすすめ、職員が定着する職場、職員が集まってくる事業所をめざします。
- 2) 法人の運営理念、事業活動方針が事業所・職員に届き、事業所からの現場の意見が方針に反映させられる事業運営をすすめます。
- 3) 事業展開として2019年度に特養ホームユニットの増床を実現し、新たな地域貢献として地域包括ケアの一翼を担う活動を展開します。
- 4) 新たな中期計画づくりをすすめます。2019年度は現「3か年計画」のまとめと残課題を推進しつつ、新「中期計画」策定の年とします。

(1) 事業活動

①介護事業については、職員の個々の介護技術を高め、科学的根拠と目的意識のある介護を追求します。介護活動の基本に「介護過程の展開」を位置づけ、個別ケアの充実と安全性の向上に取り組みます。専門分野ごとのリーダー育成や、各種研修等の受講など対象者を明らかにして取り組みます。地域と事業所との交流をさらに発展させ、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。利用者の在宅での生活を支えるために、介護する家族への支援活動に取り組みます。

②保育事業については、保育活動の更なる充実をめざし、「安心・満足」を高めます。心も身体も満たされる「食」への取り組みを進めます。子ども、保護者、保育者相互の理解を深められるようコミュニケーションを大事にします。子どもの発達を捉え、育ちへのアプローチを関係機関にも相談、連携しながら取り組みます。

(2) 人事・管理運営、教育研修

①職員の離職防止と採用対策を強化し定員計画に基づく職員体制の安定的な確保に努めます。規定にもとづく組織統治(ガバナンス)を強め、日常業務運営での責任と権限を明確にし、適正で迅速な事業所運営をすすめます。法人内の教育研修をさらに充実させるとともに、社

会福祉の専門職としての力量や意欲の向上につながる各種研修を計画的にすすめます。

(3) 経営管理・法人運営

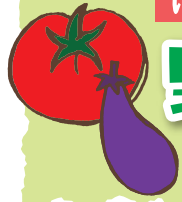
①事業所責任者による事業収益及び事業費用の予算管理を徹底し経営管理を強めます。法人本部では事業所責任者に計算資料を提供し経営分析を提起します。新規事業の展開、「総合事業」への対応、地域包括ケアづくりへの役割の発揮の仕方など、地域のニーズに応え、諸制度の変更等に機敏に対応するために法人機能を高めます。

②「3か年計画」のまとめと残課題を推進しつつ、次期中・長期的な計画づくりをすすめます。内部監査体制の整備をすすめ、第三者評価の受審を検討します。

(4) 地域福祉への貢献

①地域包括支援センターとの連携を強め、地域のあらゆる団体・個人と共同した取り組みを展開し、地域福祉への貢献活動をすすめます。鹿児島県社会福祉法人経営協議会や老人福祉施設協議会の取り組み地域貢献事業に参加します。





野菜を育てて、おいしく食べよう!

～食べる意欲は生きる意欲～



保育園では毎年、家庭の食事状況調査をしています。朝ごはんを食べない、週3～4回外食する、他にも子どもが食事をする間に家事をしているなど、調査結果からも子どもの生活リズムの乱れや保護者の忙しさがうかがえます。欠食、外食、孤食、さらに貧困の問題は食生活に直結するなど、近年の子どもを取り巻く食環境は変化してきており、社会全体で考える必要があります。

食の基本は健康な身体を育てることです。特に乳幼児期は咀嚼や嚥下機能の成長と味覚の基礎ができる時期です。そして、家庭での日々の営みのなかで生涯の食の基礎を身につけ、家族みんなで食べることで子どもの心の安定や満足につながり、明日への意欲につながっていくこと、また家庭の食文化を創り伝えるなど、家庭の食事はとても大切なものです。

「食べる意欲は生きる意欲」と保育の中心にある保育園の給食は、保護者にとって安心できる食事の一つとなっていますが、今では、家庭で担えない部分の役割を担っているのかもしれませんが。友だちや保育者と一緒に同じものを食べる共食、健康な身体をつくるおいしくて安全な食材、行事や郷土に伝わる食べもの、作ってくれる人たちとの触れあいなど、豊かな心を育む食事をこれからも子どもたちに届けたいと思います。

今年も、子どもたちは夏野菜のナスやキュウリ、トマトを植えました。毎日欠かさずに水やりをして、獲れた野菜でのクッキングを今から楽しみにしています。栽培、収穫、調理といった体験を通して、子どもも保護者も食に関心をもてるような取り組みを重ねていきたいと思っています。



草取りをして、畑の準備から



苗植え・植え完成!!



キュウリの支柱も自分の手で



包丁を握って野菜のカット!



キュウリは塩もみして浅漬けに



子どもの背丈まで伸びました



夏野菜カレーの材料に



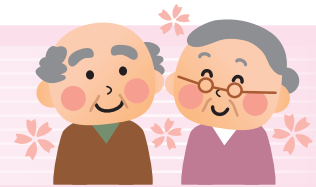
採れたて無農薬野菜!



ナスの果実に触れて「食べごろは…」



介護てつだい隊 ～地域貢献事業に参加して～



介護てつだい隊事業は、鹿児島県老人福祉施設協議会が平成29年から行っている事業で、高齢者福祉施設を地域住民の社会参加により支えてもらう仕組みづくりのための取り組みです。にじの郷では平成30年から事業に参加し9名のてつだい隊を受け入れています。活動内容は清掃や庭木の手入れ等の環境整備、利用者様への声かけやリハビリ体操など多様です。てつだい隊の方は自分のライフスタイルに合わせ、空いた時間に就労や社会貢献ができることで、生き

がいに繋がっています。施設としては介護てつだい隊の方が周辺業務を担うことで介護に費やす時間が増え、介護の質の向上に繋がっています。また、地域住民である介護てつだい隊の方々が出入りすることで施設内の雰囲気明るくなっています。介護職員の人材不足が深刻化している中、介護てつだい隊の方々は貴重な地域の社会資源です。今後も、受け入れを進め地域に開けた施設づくりを推進していきます。



茶碗洗い



利用者様への声かけ



リハビリ体操



障子貼り



ノーリフトケアの取り組み ～抱えない介護～

以前は、要介護者を抱え緊張や苦痛を与えることで拘縮ができ、職員は腰痛により治療や休養が必要な状態でした。外部の勉強会や研修でノーリフトケアを知り、今後の介護の現場には欠かせないと感じ、2015年から導入することとなりました。

ノーリフトケアの知識や福祉機器を導入し4年程経ち、ノーリフトケアに対する知識や取り組む姿勢が浸透してきています。抱え上げない移乗や力に頼らない体位変換等を行うことで、お互いにとって身体的負担を軽減できています。



今後は、要介護者の残存機能と職員のマニュアルハンドリング(手首や足首を持ち上げない方法、介護者の立ち位置や運動の方向性等)を最大限に活かし、お互いにとってより良い環境を作っていきます。

スライディングボード



スライディングシート



床走行式リフト



特別養護老人ホーム
にじの郷たにやま

ホームの1年の活動

季節を感じる暮らしを目指して

特別養護老人ホームでは、行事の中で、四季を感じていただけるような活動に取り組んでいます。施設内だけでなく、外気に触れることで、視覚・聴覚・嗅覚・触覚、時には味覚にも刺激を与え、利用者様の笑顔や言葉を引き出しています。昔の体験や思い出話など「その人の暮らし」を想像し、日々の生活に取り入れることもあります。今後ご家族様や地域の方とともに、少しでも「その人らしく」過ごせるように取り組んでいきます。



敬老会



七夕飾り



芋ほり



水族館外出



芋ほり後のクッキングレク



餅つき

理事長ごあいさつ

6月18日の評議員会及び理事会にて、理事長に選任されました水谷です。昨年の法人設立20周年を経て、今年2019年度は、特別養護老人ホームにじの郷たにやまの20床増床を目指す年になります。

私と虹の福社会のかかわりは、1990年からの鹿児島医療生協での高齢者施設づくりの検討や署名運動、そのための臨時総代会の開催、「高齢者施設づくり」の皆さんと共にすすめた募金活動からになります。当時は、本当に実現するのか不安もありました。コープがごしま、鹿児島大学生協との協同の取り組み、そして、組合員さんたちの手作り100円玉貯金箱に励まされ、これは夢ではなく実現できるのだと気持ちに変化していったことを今でも思い出します。

1998年7月の法人設立認可後、20年の歴史を経て、介護福祉分野での事業を拡げると共に保育園の事業を有する組織となり、地域福祉に貢献できる形と中身をつくりあげることができました。法人設立の取り組み、その後の運営にかかわっていただいた方々、私たちを支えてくださっている関係機関の皆様に変更して感謝申し上げます。

私たちの法人の職員体制は約190名となりました。法人がかかげる理念を大切に、一人ひとりの役割が発揮される組織づくり、そのための運営の工夫に職員と一緒に取り組んでいきます。

そして、くらしと社会をめぐる困難さが拡大する状況の中で、今後も社会保障制度の充実を求める運動、地域連携の充実に寄与し、利用者様・ご家族の皆様にとって安心と豊かなくらしの場になるように、また、地域に役立つ組織づくりを皆様と共に力をあわせすすめていく所存でございます。

今後益々のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 鹿児島虹の福社会
理事長 水谷 吉伸



左 水谷理事長 右 久保前理事長



2018年度事業及び決算報告

- 2018年度は法人設立20周年を迎え、記念誌の発行や祝賀会の開催等を行い、20年の歩みを振り返るとともに、新たな一歩を踏み出すことができました。
- 鹿児島市第7期介護保険事業計画の特養ホーム施設整備計画に応募し、2ユニット - 20床の増床計画が選定され、建築工事に向けた諸手続きをすすめました。
- 2018年度は「3か年計画」最終年・ジャンプの年として飛躍できるよう取り組みをすすめました。「3か年計画」の事業展開の目玉は小規模多機能ホームの開設でしたが、2018年12月以降は単月で黒字となり経営を軌道に乗せることができました。
- その他の介護事業所でも、介護報酬引き下げや人材確保等による困難もありましたが、役員・管理者を先頭に経営改善に取り組み、デイにじの郷では、1年間に新規利用を24件増やし、2017年度上期(小多機開設前)の件数にもう一步のところまで回復しました。
- 特養ホームでは、谷山生協クリニック歯科の協力を得て口腔機能向上加算の取得を行い、入所者の口腔ケア向上に取り組みました。
- 保育事業では、特養ホーム東側の隣接地に新たに園庭を整備し「にじひろば」と名づけました。特養ホームの中からも子どもの元気な姿を見ることができるようになりました。
- 管理運営では、法改正等への対応や職員の福利厚生向上のための対応などを進めました。職員採用は引き続き厳しい状況がありますが、職員からの紹介や元職員の復帰等が増加しており、ノーリフトの取り組みなど働き続けられる職場づくりの取り組みの成果が徐々に現れています。
- 平和・社保の取り組みでは、国民平和大行進への参加や原水爆禁止世界大会への派遣、辺野古新基地反対への新聞意見広告、東日本大震災支援連帯行動報告会や震災支援バザー等多彩な取り組みを進めました。また、家族介護者支援の取り組みの一環として、家族介護者へのアンケートに取り組みました。その結果をもとに今後居場所作りを中心とした地域との連携を進めていく予定です。

2018年度事業報告・決算(概要)

貸借対照表(2019年3月31日現在)

(単位:千円)

科目		科目	
流動資産	412,888	流動負債	120,034
現金預金	295,099	事業未払金	26,314
事業未収金	113,255	1年以内返済借入金	62,428
その他	4,534	その他	31,292
固定資産	1,883,158	固定負債	353,733
基本財産	1,662,170	設備資金借入金	328,815
建物・建物附属設備	954,344	リース負債	0
土地	707,826	退職給付引当金	17,313
その他の固定資産	220,988	長期預り金	4,500
		負債合計	473,767
		純資産	1,822,279
		次期繰越(うち当期活動収支差額)	906,996
			62,037
資産合計	2,296,046	負債及び純資産の合計	2,296,046

2018年度事業収支決算(2018年4月から2019年3月)

(単位:千円)

	予算	実績	予算比
介護保険事業収益	751,739	724,886	96.4%
保育事業収益	121,365	118,535	97.7%
障害福祉サービス等収益	120	0	0.0%
ケアハウス収益	44,166	46,207	104.6%
その他事業収入	0	0	
経常経費寄附金収益	240	660	275.0%
サービス活動収益計	917,654	890,289	97.0%
人件費	575,866	552,246	95.9%
事業費	125,407	122,485	97.7%
事務費	109,880	111,081	101.1%
利用者負担軽減額	1,043	647	62.0%
減価償却費	68,554	66,204	96.6%
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 24,916	△ 25,245	101.3%
サービス活動費用計	855,835	827,419	96.7%
サービス活動増減差額	61,819	62,870	101.7%
サービス活動外増減差額	26	△ 831	-3,196.2%
経常増減差額	61,845	62,037	100.3%
予備費	7,180	0	
会計基準当期増減差額	54,665	62,037	113.5%
次期繰越増減額	848,061	906,996	106.9%
当期活動増減差額(国庫補助金関係除く)	29,749	36,792	123.7%

※2019年5月21日:第1回理事会、6月18日:第1回定時評議員会にて承認

2019年度予算概要

2019年度事業収支予算(2019年4月から2020年3月)

(単位:千円)

	予算	前年実績比
介護保険事業収益	750,892	103.6%
保育事業収益	122,791	103.6%
障害福祉サービス等収益	120	0.0%
ケアハウス収益	45,839	99.2%
介護職員初任者研修収益	0	—
経常経費寄附金収益	240	36.4%
サービス活動収益計	919,883	103.3%
人件費	578,682	104.8%
事業費	128,503	104.9%
事務費	117,664	105.9%
利用者負担軽減額	769	118.9%
減価償却費	68,199	103.0%
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 24,739	98.0%
サービス活動費用計	869,080	105.0%
サービス活動増減差額	50,803	80.8%
サービス活動外増減差額	610	-73.4%
経常増減差額	51,414	82.9%
予備費	10,300	—
会計基準当期増減差額	41,114	66.3%
国庫補助金関係除く増減差額	16,374	44.5%

※2019年3月19日:第7回理事会にて承認

2018年4月～

ありがとうございました。

ご来訪いただいたボランティアの皆様 (敬称略)

- ・合唱団「風」
- ・崎田 信喬
- ・宇宿地区民生委員児童委員協議会
- ・オカリナシンガーズ
- ・アロハチエリーズ
- ・オハナ・オルオル
- ・生原夢(小松原1丁目あいご会)
- ・下尾 芳子
- ・小山 義方
- ・紅友会・琉球乙女
- ・桜さくら会
- ・マーラプア カウルヴュヒ
- ・とびくまバンド
- ・茶園 みどり
- ・ハーモニカ(富山勝次様 他3名)

寄附をいただいた方々 (順不同)

2018年4月から2019年3月まで

近野 登様 児玉 裕子様 岩元 世徳様

誠にありがとうございました。

にじの郷たにやま

第20回 秋まつりのご案内

お楽しみがいっぱい!!
家族みんなでお楽しみください!

舞台 出店 抽選会

とき **2019年10月5日**
17:30～20:00

ところ **にじの郷たにやま** 鹿児島市中山町5028番地80

小松原1丁目交流会の開催について

地域から信頼される施設づくりを目指して

毎年、敬老会の時期に合わせて、近隣の施設と合同で「小松原1丁目交流会」を開催しています。



交流会では地域の方々やあいご会による踊りや楽器演奏、歌や、職員による出し物などが行われ、地域の方々や事業所間の交流を深めています。

はじめた当時は2施設でのスタートでしたが、昨年から4施設の参加で交流会を開催し、施設入居者の方々の交流も行われています。今後も施設間の交流を発展させ、地域、入居者様、ご家族様、そして、職員の交流をすすめていきたいと思っています。今年度は、9月28日(土)を予定しています。



社会福祉法人 鹿児島虹の福祉会

- 特別養護老人ホームにじの郷たにやま (ショートステイ併設)
- デイサービスセンターにじの郷たにやま
- ヘルパーステーションにじの郷たにやま
- 介護支援センターにじの郷たにやま
- 本部
〒891-0105 鹿児島市中山町5028番地80
TEL.099-267-3977 FAX.099-267-3180
- ケアハウスにじの郷小松原
〒891-0114 鹿児島市小松原1丁目15-19
TEL.099-210-5130 FAX.099-210-5223
- デイサービスセンターにじの郷たにやま・本町
〒891-0141 鹿児島市谷山中央3丁目4582番地 谷山中央ビル2階
TEL.099-263-5066 FAX.099-263-5068
- 小規模多機能ホームにじの郷たにやま
〒891-0105 鹿児島市中山町5028番地78
TEL.099-813-8140 FAX.099-813-8141
- にじのさと保育園
〒891-0105 鹿児島市中山町5028番地87
TEL.099-263-1202 FAX.099-263-1208

にじの郷マップ

